

第26号議案

平成22年度社会福祉法人やまゆり 福社会事業計画について

平成22年度社会福祉法人やまゆり福社会事業計画を別紙のとおり決定するものとする。

平成22年3月29日

提 出 者

理 事 長 佐 藤 弘 幸

社会福祉法人やまゆり福祉会

平成22年度 事業計画書

1. 法人経営の原則の遵守

社会福祉法人やまゆり福祉会は、法人定款第3条の規定に則り、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努める。

2. 理事会・評議員会の開催

① 理事会の開催

隔月開催（平成22年5月、7月、9月、11月、平成23年1月、3月を予定）する。ただし、必要がある場合は、その都度、開催する。

② 評議員会の開催

法人定款に定めるところにより、評議員会の意見を聴くこととされている事案のある場合に開催（平成22年5月、平成23年3月を予定）する。ただし、必要がある場合は、その都度、開催する。

3. 事業運営

- ① 第一種社会福祉事業 施設入所支援事業（八王子美山学園）の運営
- ② 第二種社会福祉事業 障害福祉サービス事業（生活介護）の運営
- ③ 第二種社会福祉事業 障害福祉サービス事業（就労継続B型支援）の運営
- ④ 第二種社会福祉事業 障害福祉サービス事業（短期入所 八王子美山学園）運営
- ⑤ 第二種社会福祉事業 障害福祉サービス事業（共同生活介護・共同生活援助
いずみ寮・式分方寮・山入寮）運営

4. 本年度の重点施策

(1) 長期展望に基づく経営基盤及び経営組織の強化

- ① 経営基盤強化のための新規事業及び収益事業等の検討と実施
- ② 理事会及び法人本部機能の強化

- ③本体建物等の建替及び資金積立構想の立案
- ④資金運用の検討

(2) 新体系事業の定着化

- ①サービス報酬見直しに伴う事業経営の改善
- ②法人本部と施設現場との役割分担
- ③利用定員の確保

(3) 利用者サービスの向上とコンプライアンス（法令順守）の徹底

- ①自立と利用者意向に基づく個別支援計画の策定
- ②利用者の権利擁護の堅持
- ③関係法令及び法人規程の遵守等

(4) 生産活動の整備強化

- ①B型事業利用者増
- ②工賃増
- ③製パン・店舗事業の収益改善
- ④リサイクル事業の収益改善
- ⑤新規生産活動の開拓等

(5) 共同生活介護・共同生活援助事業の拡大

- ①ケアホーム・グループホームの新規開設の検討と実施

(6) 施設・設備の改善

- ①避難経路設備の改善
- ②利用者意向に沿った居室環境の改善
- ③居室エアコンの更新（都補助事業）

(7) 人事管理の充実

- ①職員の業務に対する志気の高揚、人権尊重やコンプライアンス意識及び経営感覚の醸成など、今後の法人運営に必要不可欠な人材育成のため、職員目標管理制度及び人事考課制度の適正運用
- ②職員目標管理制度及び人事考課制度に連動した給与体系の確立
- ③主任・係長等の役職職員の職責に基づく職務の履行の徹底
- ④職務の組織的履行の更なる徹底
- ⑤職員研修の充実

(8) 財務管理

- ①業務の効率化及びコスト削減
- ②経理事務の合理化・適正化
- ③契約の透明性の確保

(9) 福祉サービス第三者評価の継続受審

- ①利用者から選ばれる施設を目指し、5年連続で第三者評価を受審

(10) 事業経営の透明性の推進

- ①事業経営状況のホームページ等による公表
- ②理事会への職員の傍聴